

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [佐賀県立三養基高等学校] 担当教諭名 [松尾 崇史] (美術部・ESS部・写真部 17名)

相手国・地域 [パキスタン]

海外学校名 [Mansehra Public School & College] 担当教諭名 [Muhammad Umal Gul]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	20

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Corona will be defeated -Tradition and tourism will be improved-
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	コロナウイルスにより世界は苦しんでいるが、明るい未来を取り戻すために負けずに立ち向かおう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
国外に目を向け、他国との文化や考え方を知ることができたこと 国が違っていても思いは同じだということ	語学力に差があること 生徒に自主的に活動させること

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
同年代であっても将来のことを真剣に考え、学習に取り組んでいることを知った。 言語が異なってもやりとりをおこなうことができると、同じ高校生であり心を通じさせることができるということを感じた。	日本の英語教育が世界に対して遅れていると感じた。 また、生徒の主体性という意味でも中東地方の方が積極的だった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	ビデオ通話での自己紹介 写真やメッセージをフォーラムに投稿	語学力の差に愕然とした。 写真撮影やメッセージ作成に精力的に取り組んだ。	部活動
共有 テーマ学習	6月	SDGsの観点を基にテーマを決定 ビデオ通話でのやりとり	SDGsの観点について知り、参加者で どのようなテーマが良いか議論した。	部活動
融合 メッセージ作成	10月	WhatsApp内で生徒同士が互いにメ ッセージや考えたデザインを交換し 合った	相手校の想像力の高さに驚いた。 自分たちもアイデアを出そうと奮起し た。	部活動
創造 壁画制作	12月	美術室にて壁画制作	壁画制作を行った。生徒間で負担に 偏りが見られた。もう少し時間をかけ て丁寧に描けるとなお良かった。	部活動
評価 振り返り 自己評価	3月	壁画の受け取り フォーラムに感想と写真を投稿	相手校へのメッセージを意欲的に英 語で書いた。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	生徒が自主的に相手国のことを調べたり、日本との対比をしたりすることができていたため。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	コロナウイルスの影響が、学校外でどのような形で作用しているのか、なぜ日本と海外での対応や感染に違いがあるのかを考えることができた。
主体的に考え行動する力	3	語学力に差があるため、ビデオ通話での際にパワーポイントを用いて文字で見えるように工夫した場面で、主体性を見ることができた。発表練習もしていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	WhatsAppを用いて生徒同士が交流することができたこと。国籍が違っても同じ高校生として話ができたと考える。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	伝えたいことや考えたことは漠然とあったと思うが、互いに遠慮し合っ て出せなかった場面や壁画制作の負担が偏った点では主体性と合わせて表現力が不足していると考えた。